

私は、未来の磁石とクレーンゲームの磁石について、鹿児島大学の理学部、小山圭一博士に取材した。

強い磁石だと小さな電気で動く強いモーターができ、空飛ぶ自動車や電動車椅子、省エネ家電などにも役立つらしい。「二酸化炭素を発生させずに大きなエネルギーになるため、磁石自体もSDGsにつながっている。」と小山博士はおっしゃっていた。また磁石の研究も産業や技術革新の基盤をつくるため、SDGsの9番目の目標の「産業と技術革新の基盤をつくろう」になるそう。そして、私たちや大学生に理科を教えることも4番目「質の高い教育をみんなに」になることも教えてくださった。

私は、SDGsと磁石の関係が分らなかったが、この講座を受けてよく分かった。実際に強力な磁石を感じる実験をしたり、クレーンゲームを作ったりしてとても楽しかった。まさかクレーンゲームを自分で作れるとは思っていなかった。

今回知ったことを家族や友だちにも教えてあげたい。

川端 愛莉